

2010/5 ブータン GLOF 衛星班会合 議事録

- ・日 時:2010/5/25(火) 10:00-15:40
- ・場 所:RESTEC 本社 7F 第三会議室
- ・参加者(敬称略):衛星班 浮田, 矢吹, 富山, 山之口, 奈良間, 河本, 田殿
プロセス班 藤田, 永井, 坂井

議事内容

0) 開会挨拶(藤田)

- ・阿部さん後任について調整できればよい, 5/26JpGU で氷河湖セッション

1) 3 月 JCC, SWS, 衛星班初期研修報告(田殿, 10:10-11:30)

- ・3/8 役所, JICA 現地事務所表敬訪問
- ・3/9 午前 JCC, 午後 SWS を実施
- ・UNDP, 米国チームからコンタクトあり. 先方の計画と興味を確認中
- ・3/10-11 衛星班初期研修を開催, 現地参加者 12 名, ティンプー周辺にて GPS 計測実習も開催
 - 研修の効果は? > Geologist だけでなく Cartographer からも参加があり活用されることを期待
- ・今年度秋の短期本邦研修(2 週間?), 9 月現地フォローアップ研修 > 依田さん, 小森さんに確認(A/I 田殿)
- ・JICA 予算によるデータ購入手続きを進める(A/I 田殿)
- ・本会合の目的:阿部さん資産確認と後任, 今年度作業分担, 9 月中流域調査

2) 氷河湖インベントリ作成進捗状況の確認

- ・データ収集, 処理状況
 - ASTER 氷河湖抽出:済み(藤田先生)
 - Hexagon/KH-9 処理:内部講習会開催の調整(A/I 山之口)
 - 参加予定者:藤田(講師), 奈良間, 矢吹, 田殿など
 - ALOS PRISM/AVNIR-2, JERS-1/OPS (河本, 11:30-12:00)
 - 新規観測データは随時アップ
- ・氷河湖インベントリ(奈良間, 12:00-12:30)
 - 西側で 2008 個の氷河湖
 - 1960 年代と比較してちょっとでも拡大しているのは 9 個(0.021-0.013km³/year), 全て中国側, ブータン側は拡大していない <> 小森 2008 と矛盾? 場所による
 - 西と東では西の拡大速度が速い, 投稿論文予定
 - 縮小している氷河湖もある:ブータン側?
 - 3D インベントリ:DSM(10m 解像度?)そのものか 50m 間隔でコンターマップで公開する?
 - 公開目標(時期とプロダクト)を整理しないと作業が止まる可能性がある
- ・クンプ氷河解析結果(坂井, 12:30-12:50)
 - 対象は Drongpa, 氷河の表面低下がキー
 - サイドモレーンのピーク
 - ALOS 後期運用終了後の運用, ALOS 後継機の状況紹介(田殿)

3) 今年度の作業分担(14:00-15:30)

- ・阿部さんの後任
 - 浮田先生の内部資金による新潟大でのアルバイトでお願いします。ご本人に確認(A/I 浮田)
 - 永井さんには作業分担をお願いしたい
- ・作業分担
 - 拡大している氷河湖の優先度を上げる. ALOS/CORONA で選定(A/I 奈良間)
 - ALOS パンシャープン作成:新潟大(田殿, 山之口, 河本でフォローする)
 - ブータン氷河湖デジタル化
 - ALOS: デジタル化(新潟大), マニュアル再確認と提供(山之口), 必要に応じて新潟大で講習会実施
 - 陸水マスクの利用の可能性確認(矢吹, データ準備 田殿/河本)
 - ASTER: ブータン済み(藤田), ネパール約 1/3 済み(竹中さん), 観測年に幅がある
 - JERS-1/OPS: 整備優先度を下げる. 陸水マスクの利用可能性確認(A/I 矢吹, データ準備 田殿/河本)
 - Landsat: 画面内で歪みが残る, 幾何補正が必要
 - Landsat+GDEM で氷河・氷河湖抽出 or AVNIR-2/ORI 利用(A/I 永井さん)
 - ERDAS 幾何補正マニュアルを送付(A/I 富山, 山之口)
 - SPOT: 整備優先度を下げる
 - Hexagon: 過去 GLOF 発生地形再生を優先(ブータン 2ヶ所, ネパール・中国側数ヶ所)
 - 場所を連絡, 坂井さんの GE?(藤田) > PRISM/AVNIR-2 処理(A/I 田殿)
 - DEM 作成手順を確認 (藤田, 秋頃まで)
 - 講習会の日程調整(A/I 山之口)
 - 狭い領域では CORONA も作成可能
 - CORONA オルソ/DSM 作成: 澤柿氏にデータ提供(進捗確認)
 - インベントリ作成(A/I 奈良間)
 - 氷河湖デジタル化の確認は比較的容易, インベントリは順次整備していく
 - ALOS/PRISM で氷河は厳しい
 - AVNIR-2/ORI: ネパール, ヒマラヤ全域そろえるか?
- ・GPS 後処理
 - 固定基地局データ: IGS
 - Web サイトから Tracking Network > Lhasa, hayb(インド)が使える
 - Current log > 一番下にアンテナ情報
 - Approximate position: XYZ > GNSS Solutions/Control Positions に入力し干渉処理
 - 2 周波 Static 後処理: GIPSY? > Web サイト教えてもらう(藤田)

4) 9 月衛星班中流域調査

- ・参加予定者: 田殿, 山之口, 富山, 5/E 回答 浮田, 奈良間, 河本
 - 日程は小森案 +/- 2 日程度, 参加者確定後, 再度検討
- ・機材(ソーラーパネル, B/T 等)の割振りを小森さんに確認(A/I 田殿)
- ・ALOS 観測機会を確認, 同期実験内容を検討(A/I 山之口, 田殿)

以上